

令和4年8月市議会通常会議 提案説明（要旨）

令和4年8月31日（水）

おはようございます。

本日、令和4年8月市議会通常会議を開催いただきまして、誠にありがとうございます。

議案の説明に先立ちまして、諸般の報告をいたします。

まずは、8月初旬に東北、北陸をはじめ、県内でも相次いだ大雨により被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

近年、気候変動による災害リスクが増大しており、市内においても、先月の大雨では、床上浸水が3件、床下浸水が20件の被害が発生しました。

こうした中、昨年度、一昨年度と、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した、大津市総合防災訓練について、今年度は、9月24日に田上学区において3年ぶりに実施することとしており、今後とも自然災害への対策に一層意を用いてまいりたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症の状況についてです。

政府の見直し方針が示されたことを受けて、滋賀県では、昨日、感染者の全数把握を当面続けることを発表されました。本市としても、県内で統一した対応を行う必要があることから、県と同様の対応を取るとともに、国の動向を注視しつつ、県と情報共有や連携を図ってまいります。

次に、地方独立行政法人市立大津市民病院についてです。

現在、通常どおりの診療体制を維持しており、さらには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第7波にあって、その対応においても23床を確保しての入院患者の治療や宿泊療養施設の支援など、適切に対応できております。

一方、医師の退職については、9月末までに脳神経外科の医師2名、泌尿器科の医師3名が退職予定ではありますが、脳神経外科につきましては、現在、日野院長を含めた3名で脳疾患の外来診察にあたっており、泌尿器科につきましては、10月から、4名の診療体制を確保する予定であります。

なお、法人の理事長に内定している河内明宏氏を、来る10月1日から令和7年3月31日までの任期中に理事長に任命したいと考えております。

次に、「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会」に向けた本市の取組状況についてです。

先月開催されました公益財団法人日本スポーツ協会理事会において、令和7

年の国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の滋賀県開催が正式に決定されました。このことを受けて、8月19日に大津市準備委員会総会を開催し、準備委員会を「わたSHIGAかがやく国スポ・障スポ大津市実行委員会」に改めました。

本大会の前年に実施されます各競技のリハーサル大会の開催まで、2年を切っておりますことから、本市で実施する競技の準備に万全を期すとともに、市民の皆様の機運の醸成と、選手をはじめ、関係者、観客の皆様をおもてなしするための取組を加速してまいります。

続いて、ただいま提出いたしました議案について、ご説明申し上げます。

議案第71号から議案第77号までは、いずれも令和4年度の一般会計、特別会計及び企業会計の補正予算であり、以下、歳出の主な内容について、ご説明いたします。

議案第71号の一般会計は、コロナ禍からの社会経済活動の回復途上において、市内大学に通う学生や、子どもの孤独、孤立支援対策を行う団体、また農業従事者の事業継続に対して支援をすることで、直面する原油価格や物価の上昇による暮らしや営みへの影響を緩和することに加え、頻発化する自然災害への備えを主眼に編成したものです。

また、学校施設のトイレ改修など公共施設の整備事業をさらに加速させるとともに、将来的な財源不足に備えるため、公共施設等整備基金の充実を図ることとしました。

これらを踏まえ、予算議案についてご説明いたします。

まず、総務費では、学生の食生活支援を目的に市内大学が実施する学生支援活動の費用補助に要する経費のほか、消費生活相談支援におけるデジタル化推進に向けた環境構築に要する経費を、民生費では、子どもの食生活支援と居場所づくりを目的とした子ども食堂等の活動経費のほか、民間障害児等社会福祉施設の整備費補助に要する経費を措置しております。衛生費では、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種経費の追加に要する経費を、農林水産費では、既に実施しております、本市独自の農業従事者支援に加え、県の制度を活用した認定農業者等に向けた農業用燃油等高騰対策緊急支援の補助金のほか、令和5年度内のリニューアルオープンを見据えた葛川森林キャンプ村のあり方検討に要する測量等の経費を措置しております。商工費では、令和6年1月より放映開始予定の大河ドラマ「光る君へ」を契機とした観光プロモーションの展開に要する経費を、土木費では、市道路線等の危険箇所におけ

る監視体制強化に要する経費のほか、大津湖岸なぎさ公園の市民プラザ再整備事業における事業者決定に伴う周辺環境の調査等に要する経費を措置しております。消防費では、国の委託金を活用した自主防災組織等の育成に要する経費を、教育費では、市立小・中学校におけるトイレの清掃や消毒に係る外部委託の通年化に要する経費をそれぞれ措置するものでございます。

繰越明許費におきましては、半導体不足などに起因する納入遅延により、年度内での消防車両や移動図書館車両の導入が困難であることから、合計1億8,078万1千円を措置しようとするものです。

また、債務負担行為では、胃がん、子宮頸がん、乳がん検診の地域巡回集団検診業務などについて、後年度に措置する予算の限度額を定めるものです。

なお、この度の補正予算の財源につきましては、令和4年度の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」のほか、各事業に充当する国県支出金などを活用するとともに、令和3年度決算に基づく繰越金で賄い、一般会計としては43億4,625万5千円の増額補正を行うものです。

次に、議案第72号から議案第76号までの各特別会計のうち、国民健康保険事業特別会計では、保険給付費等交付金の精算に伴う返還金を、介護保険事業特別会計では、前年度に交付を受けた介護給付費負担金等の精算に伴う返還金を、後期高齢者医療事業特別会計では、窓口負担割合の変更対応に要する経費を、学校給食事業特別会計では、原油価格・物価高騰等総合緊急対策に係る学校給食の質と量を確保するための賄材料費をそれぞれ措置するもので、4つの特別会計あわせて3億7,385万3千円を増額補正するものです。

また、卸売市場事業特別会計では、債務負担行為として、冷蔵施設の更新に要する経費について、後年度に措置する予算の限度額を定めるものです。

次に、議案第77号の水道事業会計においては、真野・新瀬田浄水場の更新改良及び水道施設運転維持管理事業に係る債務負担行為の追加を行うものです。

次に、議案第78号から議案第89号までは、いずれも令和3年度の各会計の決算の認定に関するものであり、議案第78号は、一般会計の決算について、議案第79号から議案第86号までは、大津市国民健康保険事業特別会計をはじめ、8つの特別会計の決算について、議案第87号から議案第89号までは、水道事業をはじめ3つの企業会計の決算について、それぞれ議会の認定を求めようとするものです。

続きまして、一般議案についてご説明を申し上げます。

いずれも、条例の一部改正を行おうとするものについてであります。

議案第90号から議案第92号までは、法令の一部改正等に準じ、それぞれ、大津市議会議員選挙及び大津市長選挙に係る公費負担限度額の改定、非常勤職員の育児休業の取得要件及び退職手当の支給要件の緩和等を行うものであり、議案第93号から議案第97号までは、それぞれ、「手数料」、「建築基準」、「社会福祉審議会」、「医療費助成」及び「老人福祉医療費助成」に関する条例について、関係法令の改正に伴う所要の改正を行うものであります。

議案第98号は、パークPFIを活用した事業を行うための公園施設の設置に係る使用料の額の設定を行うものであり、議案第99号は、下水道事業の計画処理人口及び処理能力の見直し等を行うものであります。

以上、何とぞ適切なるご議決を賜りますようお願いを申し上げ、提案の説明といたします。